



Sekishou 通信



R7・2.17
NO. 28
文責：校長 酒井



めざす児童像：夢や希望を追い求め、失敗も学びにかえる子



☆☆☆思いがけないプレゼント！☆☆☆

3学期早々に、思いがけない嬉しいプレゼントが届きました。

早速職員玄関前の壁面に掲げられたのは、旧石川小学校の卒業生で画家の國井伸行様からの寄贈品、絵画「光さすほうへ」。そしてもう一つは、サッカーファンでなくとも誰もが知っているキングカズこと、三浦知良選手からのサッカーボール（2つ）です。こちらは、児童昇降口近くに展示しています。

絵画は127cm×127cmの大作で、森の中をさまよう小さな女の子が、光の方に向かって歩き出す様子を表しています。緑が生える鮮やかな色彩と柔らかにさす光が見る人の創造力を掻き立てる水彩画です。女の子の目指す光は、未来を表しているのでしょうか！？（校長感想）

壁面の掲示作業（用務員さんと事務の先生）を興味深く見守っていた子ども達に声をかけてみました。

どう？

すごい、これ絵ですか？写真ですか？

絵だよ、すごいね。

本当！？すごい。手で描いたんでしょう？写真みたい！

女の子は、何の光に導かれていると思う？

う～ん…、UFOだったりして…。（児童感想）



「子ども達が感じたように、自由に想像しながら、絵画を楽しんでください。」國井様とは、お会いしたこともお話をすることもまだありませんが、おそらくそうおっしゃってくださるのではないかと、勝手に思っています。創立10年の記念の年に頂いたプレゼント、大切にします。

さて、サッカーボールですが、しばらく展示した後は大谷翔平さんのグラブもそうでしたが、希望者には自由にどんどん使用させたいと思います。「みんな、サッカーしようぜ！」キングカズのさわやかな笑顔がそういうているようです。



心を一つに(なわとび記録会)

先週から学年ごとに恒例の「なわとび記録会」が開催されています。

冬期間の体力づくりの一環として、体育の時間、休み時間や昼休みを活用して練習を重ねてきた子ども達。必須種目の持久跳びや選択種目等、カードに記録を書き込みながら目標に向かって進めてきました。持久跳びは学年×1分間ですので、6年生は6分間というなかなかの難しさ、学年が上がるほどハードルが高くなります。クラスごとの連続長縄跳びも必見、こちらも限られた時間を活用して練習を重ねてきました。3分間に何回跳べるかを競うのですが、高学年となると300回超えもあり、あまりの速さに目が追いつきません。クラス対抗ですので誰もが真剣、実施前には円陣を組む気合の入りようで、否応なしに気分も高まります。

実は先日、福島県で実施している長縄コンテストで、本校の2年3組がたたき出した149回が、福島県内2年生、25人以上の部第1位に認定されました。（13日に代表児童が県庁で表彰予定）

記録会は10日の6年生が最後、さてどんなドラマが…。

全校集会校長の話（キングカズからのメッセージ）

令和7年2月10日

今日は、皆さんに紹介したいものがあります。

もう気づいていた人もいると思いますが、しばらく前から玄関に飾ってあったサッカーボールです。このボールは、プロサッカー選手で元日本代表のキングカズこと、三浦知良選手から届いたものです。では、三浦選手についてちょっとだけ説明しますね。

三浦選手は、15歳でたった一人ブラジルに渡りプロのサッカー選手となりました。今年で57歳になりますが、今も現役で今年プロ生活40年目を迎えます。誰もが尊敬する日本サッカー界のレジェンドです。

さて、ここでクイズです。「ブラジルに行ってサッカー選手になる。」と三浦少年が口にしたとき、周りの先生は三浦選手にこう言ったそうです。

A:無理だからやめなさい。

B:勝手にしろ。

C:頑張れ、君ならきっとプロになれる。

さて、答えはどれでしょう？みんなのお母さんやお父さん、担任の先生ならなんて言うだろうね。ちょっと考えてみてください。Aだと思う人、Bだと思う人、Cだと思う人（圧倒的にCに手を上げる児童が多い）答えはね～、Aです。（会場からどよめきが起こる。）

先生には、「プロなるのは無理、99%無理です。」といわれたのだそうです。その言葉を聞いて三浦選手はこう答えたと言います。

「よかったです1%可能性があるのですね。じゃあ挑戦します。」

その三浦選手が、石川小学校の子どもたちにボールをくださいました。今日は、せっかくなので、三浦選手と同じくサッカーに夢中の二人の6年生に登場してもらいます。突然の指名ですが、6年生の蓮介さんと創介さん、こちらに来てください。

二人はね、少年団やクラブのサッカー部に属して、いつも頑張っています。ではキングカズからの贈り物でリフティングやパスを披露してもらいましょう（技を披露すると拍手が起きました）さすがですね。よくトレーニングしていることが伝わってきます。二人にもう一度大きな拍手をお願いします。

今は校庭に雪が積もっていてボール遊びはできませんが、春が近づくと校庭も乾いてきます。そうしたら、大谷翔平選手のグローブのように、自由にどんどん使ってください。きっと三浦選手も喜ぶでしょう。

このボールには、みんなに「サッカー選手になってほしい」ではなくて、「夢を諦めないで挑戦してほしい！」との三浦選手からのメッセージが込められているように思います。

お話を終わります。静かに聞いてくれてありがとうございます。



校長の話の前に、各種コンクールの表彰と「小さな親切運動」実行賞の表彰がありました。「小さな親切」では、1団体と3名がそれぞれに表彰を受けました。豪雨で取り残された園児を救出に向かった5年3組、バスへの乗車の際に手を貸した1年生の手当てをした二人組、そして毎日1年生の妹と手をつなぎ、2キロメートル以上の道のりを登校している高学年児童、それぞれの行動が認められてのものです。小さな親切に大きな拍手が起きました。

※児童の様子はHPをご覧ください。